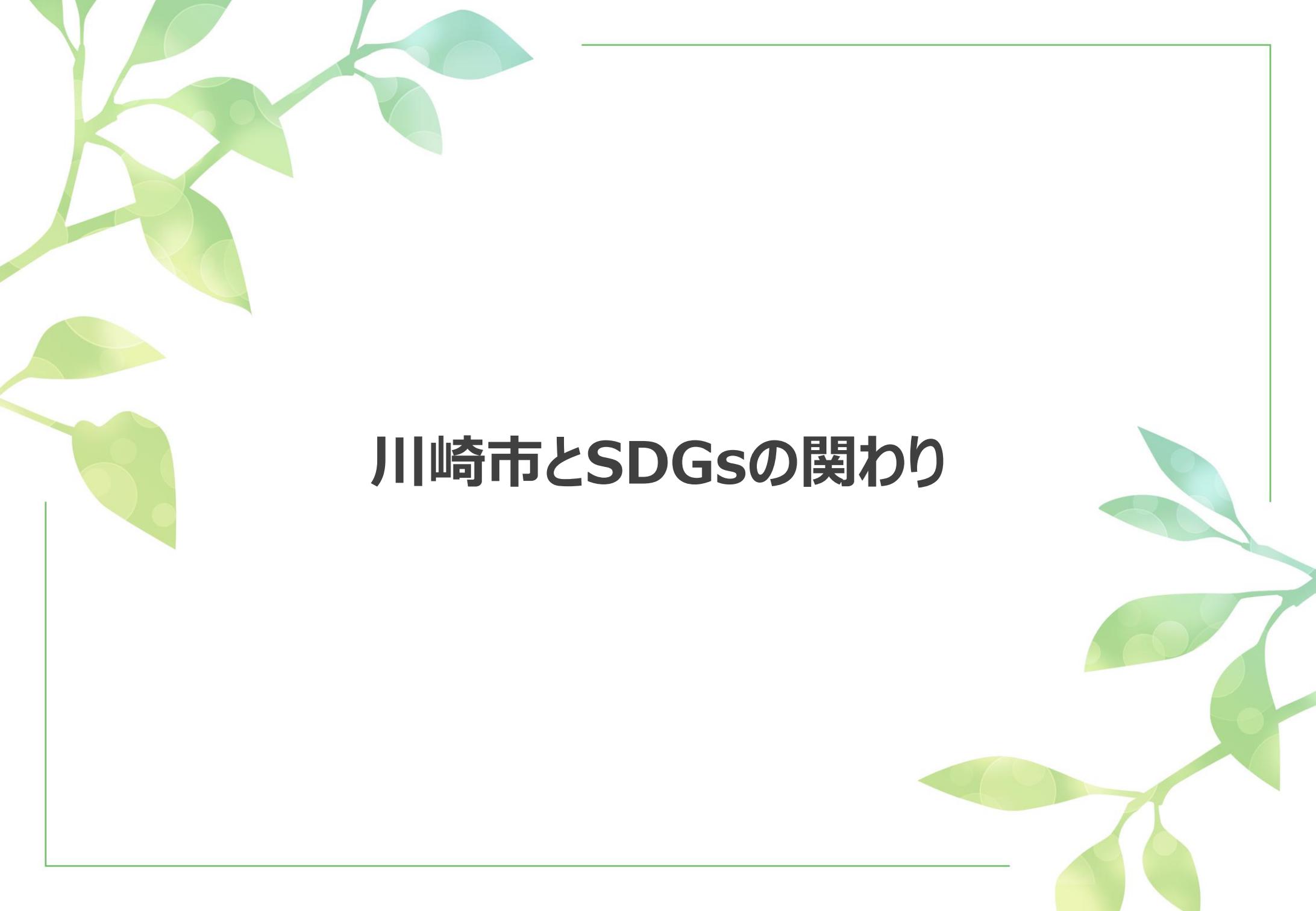




川崎市グリーンボンド (令和4年度発行) インパクトレポート・ブック

令和5年10月 川崎市



川崎市とSDGsの関わり

脱炭素社会の実現に向けたカワサキのチャレンジ

- 2019年7月
SDGs未来都市に選定



- 2020年2月
国に先駆けて
カーボンニュートラル宣言



- 2020年11月
脱炭素戦略「かわさき
カーボンゼロチャレンジ
2050」を策定



⇒2050年のカーボンニュートラル実現に
向けた方向性を整理

- 2022年3月
川崎市地球温暖化対策
推進基本計画を改定



基本計画の2030年度削減目標等

市域全体	2030年度までに ▲50%削減 (2013年比) ※1990年比▲57%削減
民生系目標	2030年度までに ▲45%以上削減 (2013年比) 民生家庭・民生業務
産業系目標	2030年度までに ▲50%以上削減 (2013年比) 産業・エネルギー転換・工業プロセス
市役所目標	2030年度までに ▲50%以上削減 (2013年比) 市公共施設全体
再エネ目標	2030年度までに 33万kW以上導入 (2013年比)

⇒**国の削減目標 (▲46%) よりも高い削減目標**を設定

- 2023年3月
川崎市地球温暖化対策推進条例を改正
⇒2050年の脱炭素社会を目指すことを
基本理念とする条例へとバージョンアップ

脱炭素社会の実現を目指し、エネルギー転換に挑戦！

川崎市グリーンボンドとSDGsの関わり

- グリーンボンドの発行を通じて、E S G投資を活性化させるとともに、環境問題が差し迫った課題であることを市民・事業者の皆さまと共有し、地球温暖化対策の取組を加速させる一助となることに加え、SDGsの「7：エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、「11：住み続けられるまちづくりを」、「12：つくる責任つかう責任」、「13：気候変動に具体的な対策を」の達成に貢献するものと考えます。

SDGs目標		本市との関わり
 <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p>	<p>7.3 2030年までに、世界全体のエネルギー効率の改善率を倍増させる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 橋処理センター整備事業 ■ 本庁舎等建替事業 ■ 環境配慮技術導入事業
 <p>12 つくる責任 つかう責任</p>	<p>12.5 2030年までに、廃棄物の発生防止、削減、再生利用及び再利用により、廃棄物の発生を大幅に削減する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 橋処理センター整備事業
 <p>11 住み続けられる まちづくりを</p>	<p>11.5 2030年までに、貧困層及び脆弱な立場にある人々の保護に焦点をあてながら、水関連災害などの災害による死者や被災者数を大幅に削減し、世界の国内総生産比で直接的経済損失を大幅に減らす。</p> <p>11.6 2030年までに、大気の水質及び一般並びにその他の廃棄物の管理に特別な注意を払うことによるものを含め、都市の一人当たりの環境上の悪影響を軽減する。</p> <p>11.b 2020年までに、包含、資源効率、気候変動の緩和と適応、災害に対する強靭さ（レジリエンス）を目指す総合的政策及び計画を導入・実施した都市及び人間居住地の件数を大幅に増加させ、仙台防災枠組2015-2030に沿って、あらゆるレベルでの総合的な災害リスク管理の策定と実施を行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 五反田川放水路整備事業 ■ 橋処理センター整備事業
 <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p>	<p>13.1 すべての国々において、気候変動に起因する危険や自然災害に対するレジリエンスおよび適応力を強化する</p>	

令和4年度グリーンボンド発行概要

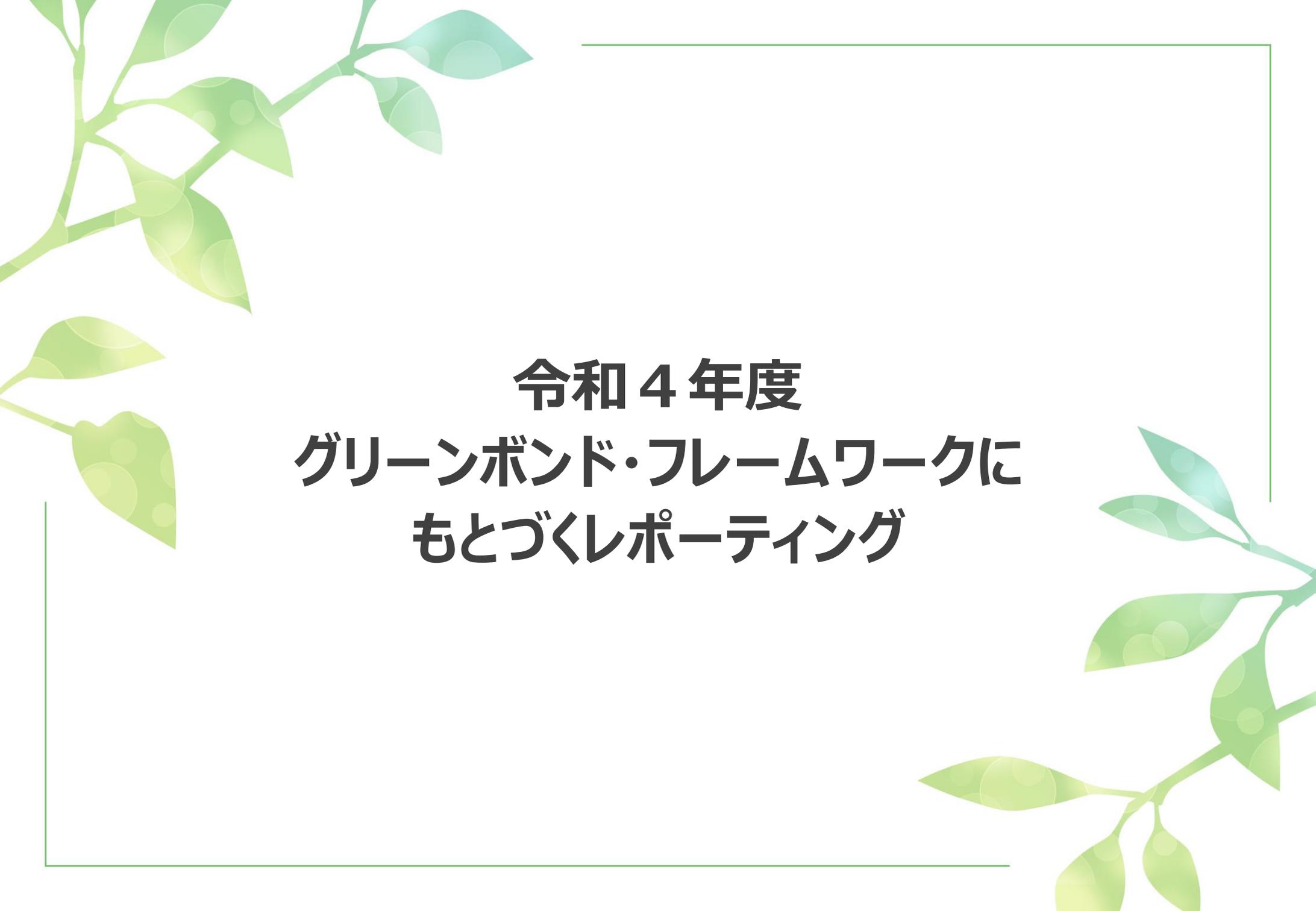
- 気候変動の適応・緩和両面に取り組む施策を行うための資金調達として、令和4年度も引き続きグリーンボンドを発行しました
- 35件の投資家の皆様に本市グリーンボンドの発行意義に共感し、投資を表明していただきました

令和4年度発行概要

年限	10年（満期一括償還）
発行額	100億円
利率	年 0.290%
発行日	令和4年8月17日
主幹事	みずほ証券株式会社（事務）、大和証券株式会社、野村証券株式会社
第三者評価	第三者機関である株式会社日本格付研究所（JCR）より、国際資本市場協会（ICMA）によるグリーンボンド原則（2021年版）及び環境省グリーンボンドガイドライン2020年版への適合性について、最上位評価のGreen1（F）の評価を受けています。

投資表明投資家一覧（五十音順）

- 綾瀬市
- 株式会社阿波銀行
- 大分県商工会連合会
- 株式会社 小川組
- 株式会社 神奈川銀行
- 学校法人 カリタス学園
- 川崎市住宅供給公社
- 川崎信用金庫
- 警察共済組合
- 公益財団法人甲府市スポーツ協会
- 公益財団法人相模原市まち・みどり公社
- ジェクト 株式会社
- システムズ・デザイン株式会社
- 公益財団法人自動車リサイクル促進センター
- 株式会社十六銀行
- 信金中央金庫
- 国立研究開発法人森林研究・整備機構 森林保険センター
- 全国市町村職員共済組合連合会
- 千葉市
- 地方公務員共済組合連合会
- 株式会社 中京銀行
- 株式会社東京きらぼしフィナンシャルグループ
- 東京都職員共済組合
- 株式会社東邦銀行
- 中田運輸株式会社
- 日本映画大学
- 日本コープ共済生活協同組合連合会
- 株式会社 日本貿易保険
- 一般財団法人 福岡県退職教職員協会
- 株式会社北洋銀行
- 株式会社みずほ銀行
- 株式会社三菱 UFJ 銀行
- 株式会社 みなと銀行
- 株式会社 横浜銀行
- リカザイ株式会社



**令和4年度
グリーンボンド・フレームワークに
もとづくレポーティング**

令和4年度 資金の充当状況・環境改善効果に係るレポート

- 2050年にCO₂排出量実質ゼロの達成と、自然災害による被害の緩和を実現するために、以下の事業に100億円を充当しました

資金使途・環境改善効果等の一覧

プロジェクト分類	対象事業	充当金額 (百万円)	環境改善効果
汚染防止及び管理 エネルギー効率	■ 橋処理センター整備事業	2,161	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー回収率 21.5%以上 発電電力量（年間発電量） 82,800,000kWh CO₂排出削減量 40,212.3t-CO₂/年 ミックスペーパー処理能力 45t/日（5h） 排ガス基準値の削減幅（新旧処理センターの比較 旧→新） ばいじん：0.02g/m³N以下→0.008g/m³N以下 SOx：30ppm以下→8ppm以下 NOx：58ppm以下→24ppm以下 HCI：50ppm以下→8ppm以下 ダイオキシン類：0.5ng-TEQ/m³N 以下→0.008ng-TEQ/m³N 以下
グリーンビルディング	■ 本庁舎等建替事業	6,981	<ul style="list-style-type: none"> グリーンビルディング認証（CASBEE川崎Sランク）の取得手続き進捗状況 CASBEE川崎Sランク取得
エネルギー効率	■ 環境配慮技術導入事業	556	<ul style="list-style-type: none"> CO₂排出削減量（LED化によるエネルギー使用削減量） 510t-CO₂/年 ※令和4年度に整備した施設に係るCO₂排出削減量
気候変動への適応 持続可能な水質源および 廃水管理	■ 五反田川放水路整備事業	302	<ul style="list-style-type: none"> 減少する浸水被害（氾濫解析等による想定値） 浸水面積 341ha 被害戸数 7,100戸

令和4年度 グリーンボンドの資金使途について①

橋処理センター整備事業（充当金額2,161百万円）

- ごみ焼却処理施設及びミックスペーパー資源化処理施設の建設を行うものです。

プロジェクト分類	環境面での便益
汚染防止及び管理 エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none">エネルギー回収率(発電能力)の向上廃棄物由来によるバイオマス発電環境負荷の低減（有害物質の排出削減）ミックスペーパー資源化処理による3Rの推進

環境改善効果

- エネルギー回収率 [21.5%以上](#)
- 発電電力量（年間発電量） [82,800,000kWh](#)
- CO₂排出削減量 [40,212.3t-CO₂/年](#)
- ミックスペーパー処理能力 [45t/日（5h）](#)
- 排ガス基準値の削減幅（新旧処理センターの比較）
ばいじん：[0.02g/m³N以下→0.008g/m³N以下](#)
SO_x：[30ppm以下→8ppm以下](#)
NO_x：[58ppm以下→24ppm以下](#)
HCI：[50ppm以下→8ppm以下](#)
ダイオキシン類：[0.5ng-TEQ/m³N 以下→0.008ng-TEQ/m³N 以下](#)

令和4年度の実施状況

- 令和4年度は、プラント設備工事と建設（躯体・内装） 工事を進めました。



▲橋処理センター完成イメージ図



▲ごみ焼却処理施設の建設工事写真

本庁舎等建替事業（充当金額6,981百万円）

- 都市型環境配慮庁舎機能を含む本庁舎の建替を行うものです。

プロジェクト分類	環境面での便益
グリーンビルディング	<ul style="list-style-type: none">CASBEE川崎Sランク相当の環境負荷の低減（温室効果ガスの排出削減）災害対策活動の中核拠点としての機能強化

環境改善効果

- グリーンビルディング認証（CASBEE川崎Sランク）の取得手続き進捗状況
[CASBEE川崎Sランク取得](#)

令和4年度の実施状況

- 令和4年度は、内外装仕上げ工事、外構工事を進めました。



▲新庁舎完成イメージ図



▲建設工事写真（低層・外構部分）

令和4年度 グリーンボンドの資金使途について②

環境配慮技術導入事業（充当金額556百万円）

- 市施設について、高効率照明機器（LED）の整備を行うものです。

プロジェクト分類	環境面での便益
エネルギー効率	<ul style="list-style-type: none"> エネルギー消費削減によるCO₂排出削減量

環境改善効果

- CO₂排出削減量（LED化によるエネルギー使用削減量）
510t-CO₂/年
※令和4年度に整備した施設に係るCO₂排出削減量

令和4年度の実施状況

- 令和4年度は、21箇所の施設に、合計13,500個導入しました。



▲橘出張所1F LED設置後



▲男女共同参画センター1F LED設置後

五反田川放水路整備事業（充当金額302百万円）

- 五反田川の水を直接多摩川へ放流するためのトンネルを整備するものです。

プロジェクト分類	環境面での便益
気候変動への適応 持続可能な水資源および廃水管理	<ul style="list-style-type: none"> 水害リスクに対する地域防災力の向上 時間雨量90mmの降雨による被害の解消

環境改善効果

- 減少する浸水被害（氾濫解析等による想定値）
浸水面積 341ha
被害戸数 7,100戸

令和4年度の実施状況

- 令和4年度は、管理棟が完成し、機械・電気設備の設置を進めました。



▲建設工事写真（分流部管理棟）



▲建設工事写真（分流部）



川崎市
財政局財政部資金課

住所 〒210-8577 神奈川県川崎市川崎区宮本町一番地

TEL 044-200-2182 FAX 044-200-3904

HP <https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/47-4-1-0-0-0-0-0-0-0.html>

Mail 23sikin@city.kawasaki.jp